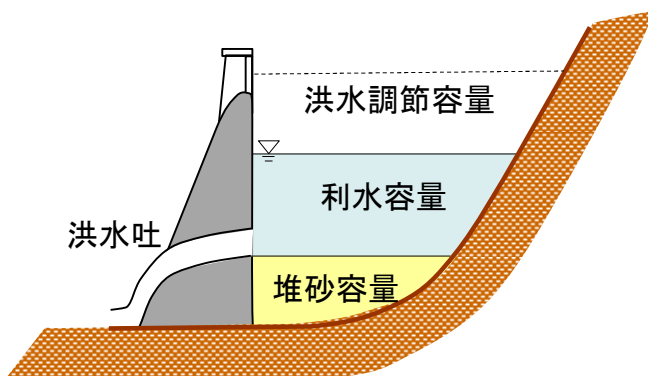


多くの用途に使われている我が国のダム状況

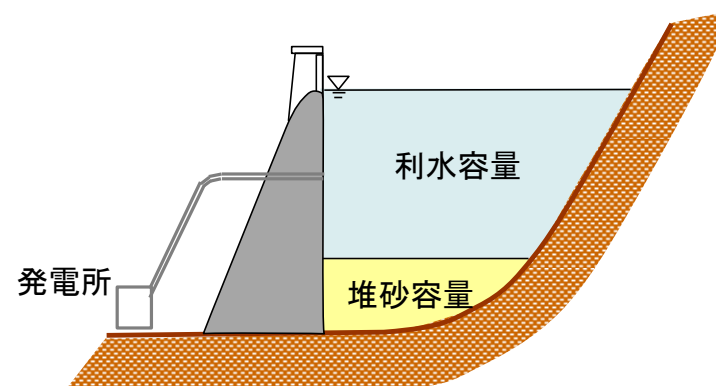
○ 全国の多目的ダム、利水ダムには、約180億m³の水を貯めることが可能(※1)であるが、水力発電、農業用水、水道等のために必要な水を貯めておくための容量が大きく、河川の氾濫の防止を目的として洪水を貯めるために確保している容量(※2)はダム全体の約3割(約55億m³)にとどまっていたところ。

※1 有効貯水容量
 ※2 洪水調節容量

○多目的ダム(治水等)の貯留模式図



○利水ダムの貯留模式図



全国の多目的ダムの容量

ダム数	洪水調節容量 (百万m ³)	利水容量 (百万m ³)	合計 (百万m ³)
570	5,509	5,985	11,494

全国の利水ダムの容量

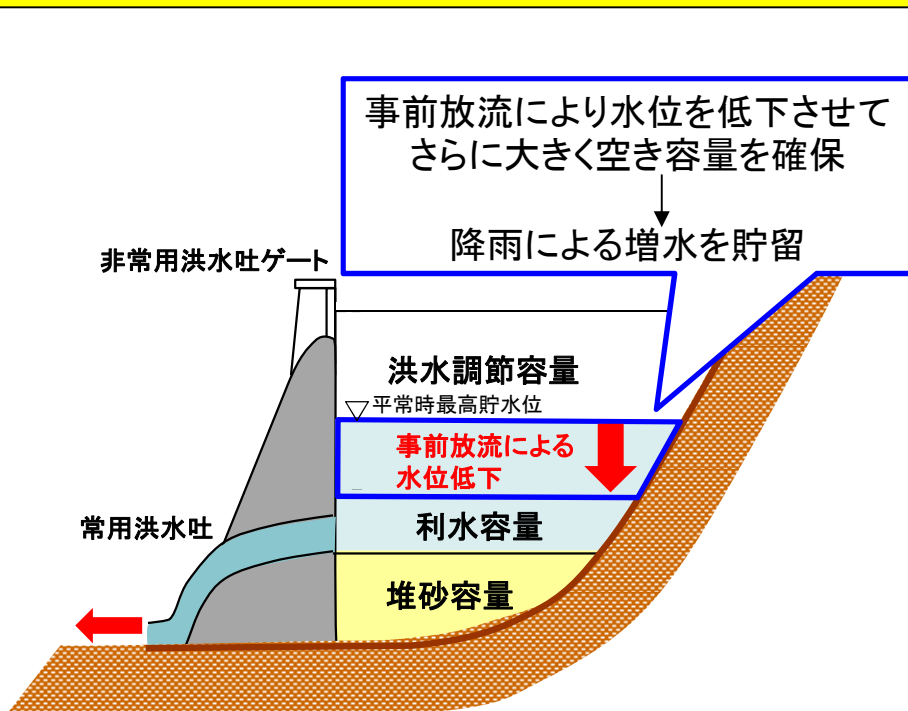
ダム数	洪水調節容量 (百万m ³)	利水容量 (百万m ³)	合計 (百万m ³)
900	0	6,790	6,790

合計: 約 55億m³ (約3割)

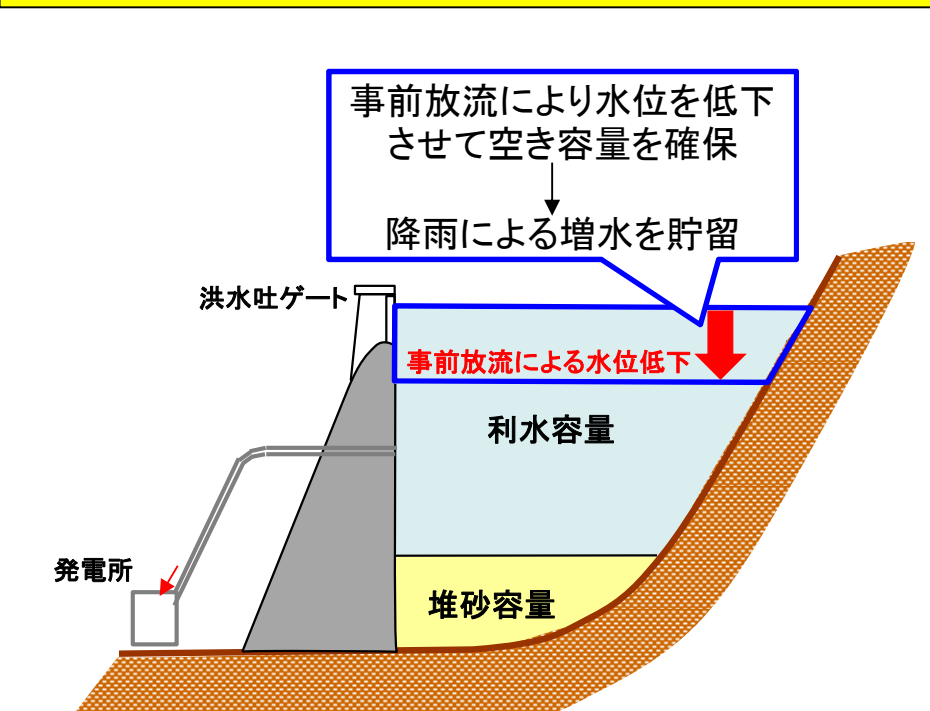
合計: 約180億m³

- 水力発電、農業用水、水道等のために確保されている容量も活用して、河川の氾濫による被害を軽減する取組を関係省庁と連携して実施。
- 水力発電、農業用水、水道等のために確保されている容量には、通常、水が貯められていることから、台風の接近などにより大雨となることを見込まれる場合に、大雨のときにより多くの水をダムに貯められるよう、河川の水量が増える前にダムから放流して、一時的にダムの貯水位を下げ、「事前放流」が必要。

治水等(多目的)ダムにおける事前放流



利水ダムにおける事前放流



関係省庁の連携による事前放流の実施の枠組み

- 水力発電、農業用水、水道など水利用を目的とする利水ダムを含めた全てのダムを対象として、ダムに洪水を貯める機能を強化するための基本方針を政府として策定(令和元年12月)
- 基本方針に基づき、令和2年の出水期から、新たな取り組みとしてダムの「事前放流」を実施

○既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議 (令和元年11月26日設置)

(構成員)

- 議長: 内閣総理大臣補佐官(国土強靱化等)
- 議長代理: 内閣官房副長官補(内政)
- 副議長: 国土交通省水管理・国土保全局長
- 構成員: 厚生労働省医薬・生活衛生局長(上水道)
農林水産省農村振興局長(農業用水道)
経済産業省経済産業政策局長(工業用水道)
資源エネルギー庁長官(水力発電)
気象庁長官

オブザーバ: 内閣府政策統括官(防災担当)

○既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針(抜粋) (令和元年12月12日)

台風第19号等を踏まえ、水害の激甚化、治水対策の緊要性、ダム整備の地理的な制約等を勘案し、緊急時において既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう、関係省庁の密接な連携の下、速やかに必要な措置を講じることとし、既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本的な方針として、本基本方針を定める。

本基本方針に基づき、全ての既存ダムを対象に検証しつつ、以下の施策について早急に検討を行い、国管理の一級水系について、令和2年の出水期から新たな運用を開始するとともに、都道府県管理の二級水系についても、令和2年度より一級水系の取組を都道府県に展開し、緊要性等に応じて順次実行していくこととする。

取組経緯

(令和元年)

- ・11月26日 政府に「既存ダムの洪水調節機能強化に向けた検討会議」を設置
- ・12月12日 政府として既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針を策定

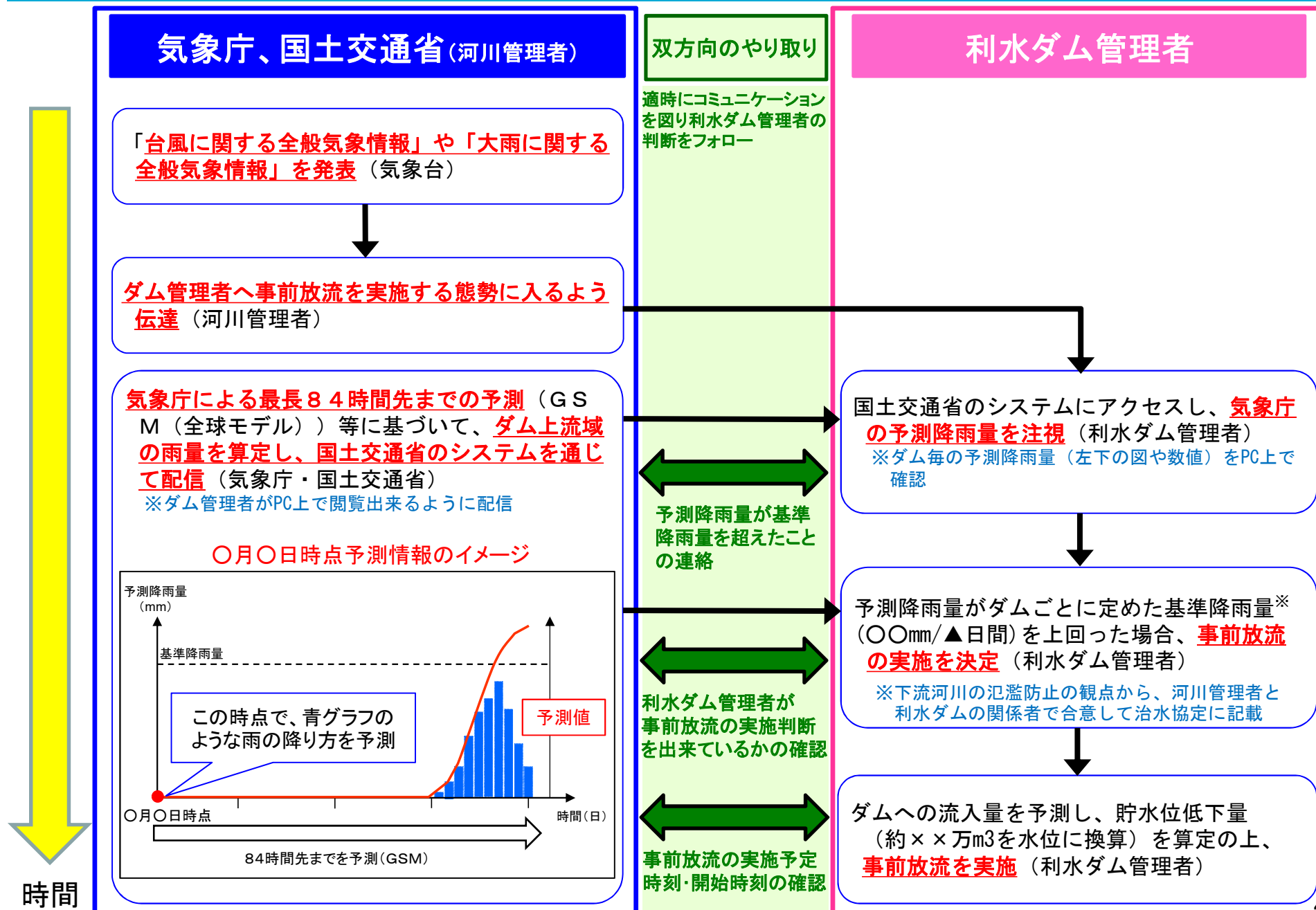
(令和2年)

- ・4月22日 事前放流ガイドラインを策定(国土交通省)
- ・5月末 ダムのある1級水系(99水系)において治水協定に合意
- ・8月末 ダムのある2級水系のうち、近年に水害が生じた水系や貯水容量が大きなダムがある水系(86水系)において治水協定に合意

(令和3年)

- ・4月末 ダムのある2級水系のうち、海に近いダムのように事前放流の効果が見込めないダムしかない水系を除いた水系(321水系)において治水協定に合意。

ダムの事前放流の進め方

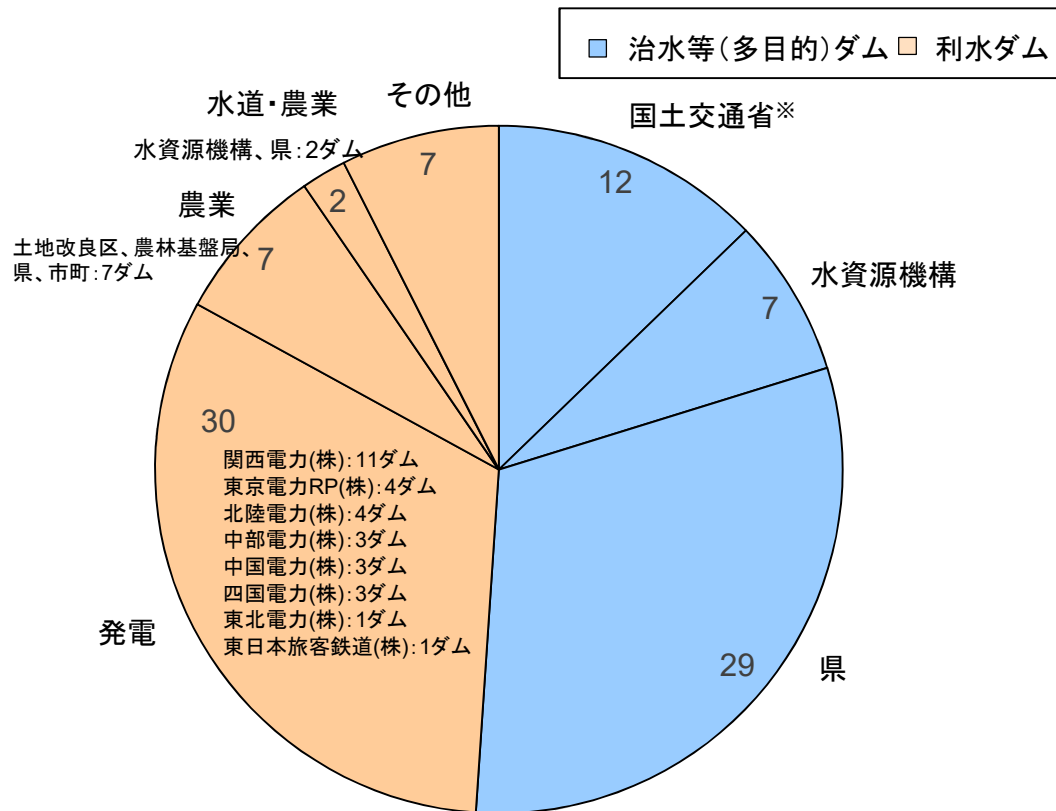


令和3年度出水期における事前放流の実施状況(総括)

11月16日時点

- 令和3年度においては全国の計94ダムで事前放流を実施(うち46ダムは利水ダム)。(令和3年5月18日～)
- このうち、令和3年8月の前線停滞に伴う大雨(11日～19日)においては全国の計69ダムで事前放流を実施(うち32ダムは利水ダム)。

＜令和3年度に事前放流を実施した94ダムの管理者＞



＜令和3年度の事前放流実施ダム数＞

治水等(多目的)ダム (国土交通省*)	12 ダム
治水等(多目的)ダム (水資源機構)	7 ダム
治水等(多目的)ダム (県)	29 ダム
利水ダム	46 ダム

計:94ダム

＜上表のうち、令和3年8月の前線停滞に伴う大雨(11日～19日)の事前放流実施ダム数＞

治水等(多目的)ダム (国土交通省*)	9 ダム
治水等(多目的)ダム (水資源機構)	7 ダム
治水等(多目的)ダム (県)	21 ダム
利水ダム	32 ダム

※内閣府沖縄総合事務局含む

計:69ダム

令和3年度出水期における事前放流の実施状況(総括)

11月16日時点

		令和3年度の主な降雨								合計 (ダム数は重複除く)
		6月末から7月上旬 梅雨前線大雨	台風第6号	台風第9号	8月中旬 前線大雨	台風第12号	台風第14号	台風第16号	その他	
1級 水系	ダム数 (括弧内は延べ数)	6(6)	0(0)	7(7)	64(73)	2(2)	8(8)	0(0)	4(6)	77(102)
	確保容量 (万m ³)	896	0	241	7,475	232	49	0	733	9,626
2級 水系	ダム数 (括弧内は延べ数)	3(3)	4(4)	6(6)	5(5)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)	17(20)
	確保容量 (万m ³)	152	83	85	146	0	0	47	0.3	514
合計	ダム数 (括弧内は延べ数)	9(9)	4(4)	13(13)	69(78)	2(2)	8(8)	1(1)	5(7)	94(122)
	確保容量 (万m ³)	1,048	83	327	7,622	232	49	47	734	10,140
東京ドーム換算		8 個分	0.7 個分	3 個分	61 個分	2 個分	0.4個分	0.4 個分	6 個分	82 個分
ハッ場ダム換算		0.1 個分	0.01 個分	0.04 個分	0.8 個分	0.03 個分	0.01 個分	0.01 個分	0.1 個分	1.1 個分